

## 教員研究紹介

### 吾妻 知美

研究分野：看護倫理・管理学

研究活動：

#### 論文

- 1) 鈴木英子, 高山裕子, 丸山昭子, 吾妻知美他 (2017)：女性の新卒看護師のアサーティブネス尺度の開発, 日本看護科学会誌, 37：193-201.
- 2) Chisato Kimura, Mami Sonobe, Mayumi Ikeda, Tomomi Azuma, Michiko Watanabe, Miho Hamasaka, Naoko Hirata (2018)：Primary School Sexuality Relationships Education in Japan-A Collaborative, Qualitative Study-, International Journal of Nursing & Clinical Practices, 5:272.

#### 学会発表

- 3) 安田美緒, 辻尾有利子, 吉岡とも子, 服部美景, 中村尚美, 吾妻知美 (2017)：専門看護師による副看護師長を対象とした看護倫理研修の取り組み～2年間の継続教育による倫理的行動の変化～, 第4回日本CNS看護学会, 東京, 6月.
- 4) 服部美景, 辻尾有利子, 安田美緒, 吉岡とも子, 中村尚美, 吾妻知美 (2017)：副看護師長が倫理的問題において指導者役割を遂行する上での困難～専門看護師による副看護師長を対象とした倫理研修の取り組みから, 第4回日本CNS看護学会, 東京, 6月.
- 5) 元生早苗, 吾妻知美, 中村尚美, 倉ヶ市絵美佳 (2017)：「実地指導者」が新人指導を行う上で感じる困難－第1報 新人看護師の入職直前の状況から－, 第21回日本看護管理学会学術集会, 横浜市, 8月.
- 6) 元生早苗, 吾妻知美, 中村尚美, 倉ヶ市絵美佳 (2017)：「実地指導者」が新人指導を行う上で感じる困難－第2報 新人看護師の入職後5か月の困難の変化－, 第21回日本看護管理学会学術集会, 横浜市, 8月.
- 7) 斎藤深雪, 加藤真理子, 鈴木英子, 吾妻知美 (2017)：精神科デイケア利用者のアサーティブネスと通所目的の関係, 第37回日本看護科学学会学術集会, 仙台市, 12月.
- 8) 赤塚京子, 瀬戸山晃一, 鶴殿慧, 吾妻知美 (2017)：研究倫理の教育効果と評価尺度についての考察, 日本生命倫理学会第29回年次大会, 宮崎市, 12月.
- 9) 赤塚京子, 瀬戸山晃一, 鶴殿慧, 吾妻知美 (2017)：効果的な研究倫理教育履修管理ツールの開発研究, 日本生命倫理学会第29回年次大会, 宮崎市, 12月.
- 10) 赤塚京子, 吾妻知美, 鶴殿慧, 瀬戸山晃一 (2018)：教育評価機能を備えた研究倫理教育履修管理システムの開発研究, 第3回研究倫理を語る会, 東京, 2月.

### 岩破 一博

研究分野：女性生涯保健学 / (学部) 医学講座：産婦人科学領域

研究活動：産婦人科感染症

#### 著書

- 1) 岩破一博 (2017)：婦人科ガイドライン 婦人科外来編 2017, 1-38, 東京：日本産科婦人科学会・日本産婦人科医会.
- 2) 岩破一博 (2017)：性感染症. 今日の治療指針 2017年版. 福井次矢編. 1258-1261, 東京：医学書院.
- 3) 岩破一博 (2018)：クラミジア感染症 産婦人科感染症マニュアル, 日本産婦人科感染症学会編, 152-157, 東京：金原出版株式会社.
- 4) 岩破一博, 北脇 城 (2018)：外陰腔カンジダ症 産婦人科感染症マニュアル 日本産婦人科感染症学会編, 192-197, 東京：金原出版株式会社.
- 5) 岩破一博 (2018)：ケジラミ症 産婦人科感染症マニュアル 日本産婦人科感染症学会編, 218-221, 金原出版株式会社.

## 論文

- 6) 岩破一博 (2017) : 妊産婦の抗菌薬使用の注意点, 日本化学療法学会雑誌, 65 (1) : 4-9.
- 7) 岩破一博 (2017) : 性感染症の動向, 日本女性医学学会雑誌, 24 (2) : 223-227.
- 8) 福本環, 岩脇陽子, 岩破一博 (2017) : 性暴力被害者に対する産婦人科医師の性感染症および妊娠検査, 性感染症治療薬および緊急避妊薬処方の実態, 母性衛生, 58 (2) : 389-395.
- 9) 福本環, 岩脇陽子, 岩破一博 (2017) : 産婦人科医師の性暴力被害者に対する支援の実態 - 性感染症検査および治療薬処方に焦点をあてて -, 思春期学, 35 (1) : 106-106.
- 10) 岩破一博 (2018) : 産婦人科感染症のフォーラム, 日本産婦人科感染症学会誌, 2 (1) : 13-18.

## 岩脇 陽子

研究分野 : 成人看護学, がん看護学, 看護教育学

研究活動 :

## 論文

- 1) 藤本早和子, 岩脇陽子, 滝下幸栄, 山本容子, 室田昌子, 吉岡さおり, 細川豊史, 早野あずさ, 山中龍也 (2017) : Effects and safety of mechanical bathing as a complementary therapy for terminal stage cancer patients from the physiological and psychological perspective: a pilot study, 生理的および心理学的観点から末期がん患者のための補完療法としての効果と機械的な入浴の安全性 : パイロット研究, Japanese Journal of Clinical Oncology, 47 (11), 1066-1072.
- 2) 室田昌子, 岩脇陽子, 山本容子, 滝下幸栄, 光本かおり, 岡薫, 松岡知子 (2017) : 看護基礎教育における慢性期患者の在宅ケアに向けた継続看護の教育方法の検討, 京都府立医科大学看護学科紀要, 27 : 63-69.
- 3) 山本容子, 岩脇陽子, 滝下幸栄, 室田昌子, 松岡知子, 光本かおり, 中村順子, 小城智圭子 (2017) : 看護学士課程1年生から開始する在宅ケアに向けた継続看護の効果的な教育方法の検討, 京都府立医科大学看護学科紀要, 27 : 71-76.
- 4) 滝下幸栄, 岩脇陽子, 山本容子, 松岡知子 (2017) : 看護継続教育における OSCE の現状に関する文献検討, 京都府立医科大学看護学科紀要, 27 : 57-62.
- 5) 松岡知子, 滝下幸栄, 岩脇陽子, 山本容子, 吉田裕子, 秋山寛子 (2017) : 1歳8ヵ月児を養育する母親の育児に関する考え方や要望, 京都府立医科大学看護学科紀要, 27 : 45-56.
- 6) 越智幾世, 光木幸子, 岩脇陽子 (2017) : 化学放射線同時併用療法を受ける頭頸部領域がん患者の口内炎出現前後における口腔ケアに対する認識, 京都府立医科大学看護学科紀要, 27 : 23-34.
- 7) 佐藤知枝, 岩脇陽子 (2017) : 病棟における看護師間に生じる相互作用に関する文献検討, 京都府立医科大学看護学科紀要, 27 : 15-22.
- 8) 山田親代, 岩脇陽子, 森本昌史, 山中龍也 (2017) ICUにおけるせん妄および重症候性せん妄に関する文献検討, 京都府立医科大学看護学科紀要, 27 : 1-14.
- 9) 福本環, 岩脇陽子, 松岡知子, 岩破一博 (2017) : 性暴力被害者に対する産婦人科医師の性感染症および妊娠検査, 性感染症治療薬および緊急避妊薬処方の実態, 母性衛生, 58 (2) : 389-395.

## 学会発表

- 10) 藤本早和子, 岩脇陽子, 滝下幸栄, 山本容子, 室田昌子, 吉岡さおり, 細川豊史, 山中龍也 (2017) : 終末期がん患者に対する機械浴の生理的・心理的な影響についての予備的研究, 第22回日本緩和医療学会学術大会, 横浜市, 6月.
- 11) 岩脇陽子, 山本容子, 滝下幸栄, 室田昌子, 柴田明美, 松岡知子, 光本かおり (2017) : 在宅ケアに向けた継続看護の効果的な教育方法の試み, 第43回日本看護研究学会学術集会, 東海市, 8月.
- 12) 岩脇陽子, 室田昌子, 松岡知子, 山本容子, 滝下幸栄 (2017) : 退院支援事例をアセスメントする学習を取り入れた成人看護学実習の試み, 第37回日本看護科学学会学術集会, 仙台市, 12月.
- 13) 武山雅志, 岩脇陽子, 北岡和代, 室田昌子, 表志津子, 松本勝, 丸岡直子 (2017) : 看護学生のコミュニケーション・スキルの変化, 第37回日本看護科学学会学術集会, 仙台市, 12月.

- 14) 松尾恵美, 岩脇陽子, 井林寿恵, 滝下幸栄, 室田昌子, 山本容子, 松岡知子 (2017): 小児がん患児の母親が治療開始の説明前後に抱く心理の様相, 第37回日本看護科学学会学術集会, 仙台市, 12月.
- 15) 山本裕子, 滝下幸栄, 岩脇陽子, 松岡知子, 山本容子, 室田昌子 (2017): 看護専門学校教員の生涯学習行動のプロセスに関する研究, 第37回日本看護科学学会学術集会, 仙台市, 12月.
- 16) 飛田健一, 岩脇陽子, 室田昌子, 滝下幸栄, 新垣洋美, 松岡知子 (2017): リフレクション研修が精神科新人看護師および中堅看護師に及ぼす影響, 第37回日本看護科学学会学術集会, 仙台市, 12月.
- 17) 松岡知子, 岩脇陽子, 滝下幸栄, 山本容子, 長弘千恵 (2017): 第一反抗期が出現する子どもを初めて養育する母親の育児ストレスの特徴, 第37回日本看護科学学会学術集会, 仙台市, 12月.
- 18) 山田親代, 岩脇陽子 (2017): ICU入室患者の重症候性せん妄発症に影響する要因, 第14回日本クリティカルケア看護学会学術集会, 東京, 6月.

#### その他

- 19) 山下智穂, 京田望, 中村梓, 伊藤智代, 岩脇陽子, 藤岡数記, 岡部佳代子, 廣山晴美 (2017): ステロイド製剤の内服治療を受けている膠原病患者の症状とステロイドに対するイメージ, 平成29年度京都市立医科大学看護研究交流会, 京都市, 10月.
- 20) 山本容子, 岩脇陽子, 滝下幸栄, 室田昌子 (2017): 卒業前の看護学生の手洗い行動に関連する知識と認識の構造, 平成29年度京都市立医科大学看護研究交流会, 京都市, 10月. 論文

### 江本 厚子

研究分野: 老年看護学, 在宅看護学

研究活動: 該当なし

#### 論文

- 1) 江本厚子, 大橋純子, 岡野明美, 石川信仁 (2017): 看護の統合と実践Ⅱにおける京都府北部地域での学び, 京都府立医科大学看護学科紀要, 27, 77-80.
- 2) 石川信仁, 江本厚子 (2017): 男性労働者の日常生活習慣と再構成した特定保健指導区分との関連性の検討, 日本保健福祉学会誌, 24, 5-11.

#### 学会発表

- 3) 高橋達夫, 大橋純子, 江本厚子 (2017): 特別養護老人ホームにおける看護職の夜間配置が看護職・介護職の精神的健康に与える要因の検討, 第37回日本看護科学学会学術総会, 仙台市.

### 北島 謙吾

研究分野: 精神看護学

研究活動:

#### 著書

- 1) 北島謙吾 (2018): 手島恵・藤本幸三編集, 看護管理学 改訂第2版 第Ⅱ章5. 自己管理5-1. ストレス管理, 南江堂, 154-157, 3月

#### 学会発表

- 2) 福田弘子, 占部美恵, 北島謙吾 (2017): 豪雨災害被災者が捉えた被災後の生活再建過程における心理的影響, 日本精神保健看護学会第27回学術集会・総会, 札幌市, 6月.
- 3) 富岡真弓, 占部美恵, 福田弘子, 北島謙吾 (2017): 就労を目指す統合失調症者の思いや受けた支援に関する文献検討-統合失調症者への効果的な就労支援の検索-, 日本精神保健看護学会第27回学術集会・総会, 北海道札幌市, 6月.
- 4) 福田弘子, 占部美恵, 北島謙吾 (2017): 豪雨災害の被災者が捉えた長期的な心理的影響と支援-2011年紀伊半島大水害の被災者による語りから-, 日本災害看護学会第19回年次大会, 倉吉市, 8月.

## 關戸 啓子

研究分野：基礎看護学

研究活動：

### 学会発表

(国際学会)

- 1) Keiko Sekido, Sayoko Uemura, Kaori Tsutsumi (2017) : Literature review of support the persons living with dementia and family caregivers in Japan, 32nd International Conference of Alzheimer's Disease International, Kyoto. Apr.
- 2) Keiko Sekido, Kaori Tsutsumi, Sayoko Uemura (2017) : Literature review of palliative care and interprofessional care to the persons with dementia in Japan, 32nd International Conference of Alzheimer's Disease International, Kyoto. Apr.
- 3) Sayoko Uemura, Keiko sekido, Kaori Tsutsumi (2017) : Gender comparison of sense of care burden, capacity to deal stress in family caregivers who take care of older adult with dementia in Japan, 32nd International Conference of Alzheimer's Disease International, Kyoto. Apr.
- 4) Kiyomi Harada, Kiyo Ochi, Naoko Nishida, Yukie Takishita, Yoko Yamamoto, Keiko Sekido (2017) : The utility of original and revised Short Nutritional Assessment Questionnaire - For Japanese patients with cancer undergoing outpatient chemotherapy, TNMC & WANS International Nursing Research Conference 2017, Bangkok Thailand, Oct.
- 5) Kiyomi Harada, Kiyo Ochi, Naoko Nishida, Yukie Takishita, Yoko Yamamoto, Keiko Sekido (2017) : Nutritional management of cancer patients receiving outpatient chemotherapy - Nutrient intake by the presence or absence of stomatitis and taste disorder, TNMC & WANS International Nursing Research Conference 2017, Bangkok Thailand, Oct.
- 6) Kaori Tsutsumi, Keiko Sekido, Sayoko Uemura, Satomi Nasu (2017) : What makes the work worth doing for nurses who work in hospices/palliative care wards in Japan, TNMC & WANS International Nursing Research Conference 2017, Bangkok Thailand, Oct.
- 7) Sayoko Uemura, Keiko Sekido, Kaori Tsutsumi (2017) : Characteristics of the gender of family caregivers, caregiver burden, and stress-coping skills, TNMC & WANS International Nursing Research Conference 2017, Bangkok Thailand, Oct.

(国内学会)

- 8) 關戸啓子, 原田清美 (2017) : 看護学生の食生活と食事介助時大切にする視点との関連, 日本看護学教育学会第27回学術集会, 宜野湾市, 8月.
- 9) 原田清美, 山本容子, 關戸啓子 (2017) : 食事介助演習の実施時期による学習効果の違い - 患者役体験を通じた学びを比較して -, 日本看護学教育学会第27回学術集会, 宜野湾市, 8月.
- 10) 植村小夜子, 關戸啓子 (2017) : 在宅で介護している女性家族介護者の特徴, 日本看護研究学会第43回学術集会, 東海市, 8月.
- 11) 松原衣里, 關戸啓子 (2017) : 緩和ケア病棟における看護の意味 - 緩和ケア認定看護師を対象として -, 日本看護研究学会第43回学術集会, 東海市, 8月.
- 12) 原田清美, 越智幾世, 山本容子, 西田直子, 關戸啓子 (2017) : 外来化学療法中の患者における栄養状態についての研究 - 食欲低下有無別, 写真併用による食事記録調査 -, 日本看護研究学会第43回学術集会, 東海市, 8月.
- 13) 關戸啓子, 羽場千佐子 (2017) : 手術室器械出し看護師の卒後教育に関する国内外の文献検討, 第37回日本看護科学学会学術集会, 仙台市, 12月.
- 14) 羽場千佐子, 關戸啓子 (2017) : 手術室器械出し看護に関する継続学習の実態 - 属性による学習方法の相違 -, 第37回日本看護科学学会学術集会, 仙台市, 12月.
- 15) 植村小夜子, 關戸啓子, 堤かおり (2017) : 在宅における家族介護者が息子である場合の介護の特徴, 第37回日

本看護科学学会学術集会, 仙台市, 12月.

- 16) 原田清美, 越智幾世, 滝下幸栄, 山本容子, 西田直子, 關戸啓子 (2017): 外来化学療法中のがん患者の疾患別栄養管理に関する基礎的研究-写真撮影併用による2日間の食事調査より-, 第37回日本看護科学学会学術集会, 仙台市, 12月.
- 17) 原田清美, 越智幾世, 滝下幸栄, 山本容子, 西田直子, 練谷弘子, 岡垣雅美, 東あかね, 關戸啓子 (2018): 外来化学療法中のがん患者における有害事象と栄養状態-血清トランスサイレチン値を評価指標として-, 第32回日本がん看護学会学術集会, 千葉市, 2月.
- 18) 原田清美, 越智幾世, 滝下幸栄, 山本容子, 關戸啓子 (2018): 外来化学療法中のがん患者におけるトランスサイレチンを用いた栄養評価, 第32回日本がん看護学会学術集会, 千葉市, 2月.

## 星野 明子

研究分野: 地域看護学, 公衆衛生看護学

研究活動:

### 論文

- 1) 千葉圭子, 東中真美, 小嶋 操, 渡邊温美, 西邑公子, 西川幸子, 池田裕子, 斉田晃子, 星野明子, 桂 敏樹 (2017): 京都府新人保健師研修ガイドラインによる研修の評価-到達目標自己チェック表を用いた追跡的検討, 保健師ジャーナル, 73: 932-938.
- 2) 桂 敏樹, 藤本萌美, 志澤美保, 星野明子, 白井香苗 (2017): 基本チェックリスト重点項目は新規要介護認定発生を予測できるか, 日本農村医学会雑誌, 66: 462-471.
- 3) Toshiki Katsura, Megumi Fujimoto, Miho Shizawa, Akiko Hoshino, Kanae Usui, Eri Yokoyama, Mayumi Hara (2017): A retrospective cohort study on the risk assessment of newly certificated long-term care need of elderly individuals in a community: Basic checklist and specific health checkup, Journal of Rural Medicine, 12, 68-84.
- 4) 石川信仁, 星野明子, 桂 敏樹, 白井香苗 (2017): 男性特定健康診査受診者の再構成した指導区分とメタボリックシンドロームとの関連, 日本健康医学会雑誌, 25 (4), 310-314.
- 5) 志澤美保, 義村さや香, 趙朔, 十一元三, 星野明子, 桂 敏樹 (2017): 幼児期の子供の食行動と養育環境との関連, 京都府立医科大学紀要, 27: 35-44.

### 学会発表

- 6) 志澤美保, 義村さや香, 趙朔, 十一元三, 星野明子, 桂 敏樹 (2017): 幼児期の食行動の関連要因の検討-自閉症的傾向、感覚特性および育児環境の実態-, 第76回日本公衆衛生学会総会, 鹿児島, 10月.
- 7) 小嶋 操, 永石早季子, 川口秀子, 丹治和美, 竹原智美, 千葉圭子, 東中真美, 入田明子, 池田裕子, 斎田明子, 勝山久美子, 星野明子, 桂 敏樹 (2017): 京都府の中堅期・管理期保健師人材育成の評価と今後の展望, 第76回日本公衆衛生学会総会, 鹿児島, 10月.
- 8) 星野明子, 志澤美保, 白井香苗, 小倉真衣, 桂 敏樹 (2017): 木津川市健康増進計画中間評価からみた、ライフスタイル、健康、育児の課題と取り組み, 第76回日本公衆衛生学会総会, 鹿児島, 10月.
- 9) 小倉真衣, 阿部成美, 古俣理子, 中平悠理子, 藤原里奈, 白井香苗, 志澤美保, 星野明子, 桂 敏樹 (2017): ソーシャルキャピタルは閉じこもり高齢者のフレイル出現を抑制する要因となるか (第2報), 第76回日本公衆衛生学会総会, 鹿児島, 10月.
- 10) 阿部成美, 小倉真衣, 古俣理子, 中平悠理子, 藤原里奈, 白井香苗, 志澤美保, 星野明子, 桂 敏樹 (2017), 地域高齢者における閉じこもりとフレイルとの関連に関する研究 (第1報), 第76回日本公衆衛生学会総会, 鹿児島, 10月.
- 11) 尾崎玲奈, 星野明子, 志澤美保, 白井香苗, 桂 敏樹 (2017): 聴覚障害者の受療行動に影響する要因の検討, 第76回日本公衆衛生学会総会, 鹿児島, 10月.
- 12) 星野明子, 志澤美保, 白井香苗, 小倉真衣, 桂 敏樹 (2017), 3歳児の生活習慣と育児-「すこやか木津川21」中間評価結果 (第1報)-, 第66回日本農村医学会総会, 宜野湾, 10月.

- 13) 白井香苗, 星野明子, 志澤美保, 小倉真衣, 桂 敏樹 (2017): 高齢期のライフスタイルと健康 -「すこやか木津川 21」中間評価結果 (第2報) -, 第66回日本農村医学会総会, 宜野湾, 10月.
- 14) 小倉真衣, 星野明子, 志澤美保, 白井香苗, 桂 敏樹 (2017): 青・壮年期のライフスタイルと健康 -「すこやか木津川 21」中間評価結果 (第3報) -, 第66回日本農村医学会総会, 宜野湾, 10月.
- 15) 桂 敏樹, 小倉真衣, 古俣理子, 星野明子, 志澤美保, 白井香苗 (2017): ソーシャルキャピタルはフレイルを抑制するか - 閉じこもりと非閉じこもりの比較 (1), 第66回日本農村医学会総会, 宜野湾, 10月.
- 16) 古俣理子, 桂 敏樹, 小倉真衣, 星野明子, 志澤美保, 白井香苗 (2017): 閉じこもり高齢者のフレイル発現と基本チェックリストによる機能評価の関連 (2), 第66回日本農村医学会総会, 宜野湾, 10月.

## 松岡 知子

研究分野: 母性看護学・助産学

研究活動:

### 論文

- 1) 福本環, 岩脇陽子, 松岡知子, 岩破一博 (2017): 性暴力被害者に対する産婦人科医師の性感染症および妊娠検査, 性感染症治療薬および緊急避妊薬処方の実態, 母性衛生, 58 (2), 389-395.
- 2) 松岡知子, 滝下幸栄, 岩脇陽子, 山本容子, 秋山寛子 (2017): 1歳8か月児を養育する母親の育児に関する考え方や要望, 京都府立医科大学看護学概論紀要, 27, 45-56.
- 3) 滝下幸栄, 岩脇陽子, 山本容子, 松岡知子 (2017): 看護継続教育における OSCE の現状に関する文献検討, 京都府立医科大学看護学概論紀要, 27, 57-62.
- 4) 室田昌子, 岩脇陽子, 山本容子, 滝下幸栄, 光本かおり, 岡薫, 松岡知子 (2017): 看護基礎教育における慢性期患者の在宅ケアに向けた継続看護の効果的な教育方法の検討, 京都府立医科大学看護学概論紀要, 27, 63-70.
- 5) 山本容子, 岩脇陽子, 滝下幸栄, 室田昌子, 松岡知子, 光本かおり, 中村順子, 小城智圭子 (2017): 看護学士課程1年生から開始する在宅ケアに向けた継続看護の効果的な教育方法の検討, 京都府立医科大学看護学概論紀要, 27, 71-76.

### 学会発表

- 6) 岩脇陽子, 山本容子, 滝下幸栄, 室田昌子, 柴田明美, 松岡知子, 光本かおり (2017): 在宅ケアに向けた継続看護の効果的な教育方法の試み, 第43回日本看護研究学会第43回学術集会, 東海市, 8月.
- 7) 吉田裕子, 吉岡友香子, 中島奈美, 青山桂子, 松岡知子 (2017): 母性看護学実習に新生児蘇生演習を導入してその2-オリジナル教材導入による学習効果の検討 - 第27回日本看護教育学会, 宜野湾市, 8月.
- 8) 松岡知子, 岩脇陽子, 滝下幸栄, 山本容子, 長弘千恵 (2017): 第一反抗期が出現する子どもを養育する初産婦の育児ストレスの特徴: 第37回日本看護科学学会, 仙台市, 12月.
- 9) 松尾恵美, 岩脇陽子, 井林寿恵, 滝下幸栄, 室田昌子, 山本容子, 松岡知子 (2017): 小児がん患児の母親が治療開始の説明前後に抱く心理の様相: 第37回日本看護科学学会, 仙台市, 12月.
- 10) 山本裕子, 滝下幸栄, 岩脇陽子, 松岡知子, 山本容子 (2017): 看護専門学校教員の生涯学習行動のプロセスに関する研究: 第37回日本看護科学学会, 仙台市, 12月.
- 11) 飛田健一, 岩脇陽子, 室田昌子, 滝下幸栄, 新垣洋美, 松岡知子 (2017): リフレクション研修が精神科新人看護師および中堅看護師に及ぼす影響: 第37回日本看護科学学会, 仙台市, 12月.

## 森本 昌史

研究分野: 小児科学, 小児神経学, てんかん学, 小児保健学

研究活動

### 著書

- 1) 森本昌史. 第6章 日常生活と環境. 179-201. 澤田淳・細井創編. 最新子ども保健. 東京: 日本小児医事出版社, 2017.
- 2) 森本昌史. Magnetic resonance imaging (MRI) and epilepsy. 92. 日本てんかん学会編. てんかん学用語辞典

改訂第2版. 東京: 診断と治療社, 2017.

## 論文

### 総説

- 3) 山田親代, 岩脇陽子, 森本昌史, 山中龍也. ICUにおけるせん妄および重症候性せん妄に関する文献検討. 京府医大看護紀要. 27: 1-14, 2017.

### 原著

- 4) Kidowaki S, Morimoto M, Yamada K, Sakai K, Zuiki M, Maeda H, Yamashita S, Morita T, Hasegawa T, Chiyonobu T, Tokuda S, Hosoi H. Longitudinal change in white matter in preterm infants without magnetic resonance imaging abnormalities: Assessment of serial diffusion tensor imaging and their relationship to neurodevelopmental outcomes. *Brain Dev.* 2017; 39: 40-7.
- 5) Zuiki M, Chiyonobu T, Yoshida M, Maeda H, Yamashita S, Kidowaki S, Hasegawa T, Gotoh H, Nomura T, Ono K, Hosoi H, Morimoto M. Luteolin attenuates interleukin-6-mediated astrogliosis in human iPSC-derived neural aggregates: A candidate preventive substance for maternal immune activation-induced abnormalities. *Neuroscience Letters* 2017; 653: 296-301.
- 6) Sakaue S, Kasai T, Mizuta I, Suematsu M, Ozone S, Azuma Y, Imamura T, Tokuda T, Kanno H, El-Agnaf OMA, Morimoto M, Nakagawa M, Hosoi H, Mizuno T. Early-onset parkinsonism in a pedigree with phosphoglycerate kinase deficiency and a heterozygous carrier: do PGK-1 mutations contribute to vulnerability to parkinsonism? *NPJ Parkinson's Dis.* 2017 Mar 31;3:13. doi: 10.1038/s41531-017-0014-4. eCollection 2017.
- 7) Kasai T, Tatebe H, Kondo M, Ishii R, Ohmichi T, Yeung WTE, Morimoto M, Chiyonobu T, Terada N, Allsop D, Nakagawa M, Mizuno T, Tokuda T. Increased levels of plasma total tau in adult Down syndrome. *Pros one* 2017; e0188802.

## 学会発表

(国際学会)

### 一般講演

- 8) Yamashita S, Chiyonobu T, Yoshida M, Maeda H, Zuiki M, Kidowaki S, Isoda K, Kato M, Saito H, Matsumoto N, Morimoto M. A human iPSC model of STXBP1-related epileptic encephalopathy uncovers specific neural dysfunctions. 14th Asian and Oceanian Congress of Child Neurology. 2017 May 11-14; Fukuoka, Japan.

(国内学会)

シンポジウム, ワークショップ, パネルディスカッションなど

- 9) 森本昌史, 中井昭夫, 多田弘子, 神山潤, 加藤光広. 長期計画委員会ワークショップ. 日本小児神経学会での共同研究の推進について. 第59回日本小児神経学会学術集会. 2017年6月15日; 大阪.
- 10) 森本昌史. ポストコンGRESSセミナー. てんかんをめぐる病診連携. 小児てんかんのトランジション. 第51回日本てんかん学会学術集会. 2017年11月5日; 京都.

### 一般講演

- 11) 木戸脇智志, 森本昌史, 瑞木匡, 前田裕史, 山下哲史, 森田高史, 長谷川龍志, 千代延友裕, 徳田幸子, 細井創. 頭部MRIで異常所見を認めない早産児における白質の経時的変化の検討. 第59回日本小児神経学会学術集会. 2017年6月16日; 大阪.
- 12) 瑞木匡, 千代延友裕, 前田裕史, 山下哲史, 吉田路子, 長谷川龍志, 森本昌史. ルテオリンはIL-6による神経分化障害を改善する—ヒトiPS細胞を用いた母体炎症による胎児脳障害の治療探索. 第59回日本小児神経学会学術集会. 2017年6月16日; 大阪.
- 13) 全有耳, 弓削マリ子, 森本昌史. 5歳児健診受診児のその後の経過—小学校5年性時のStrengths and Difficulties Questionnaireによる評価— 第64回日本小児保健協会学術集会. 2017年7月1日; 大阪.

## その他

- 14) 森本昌史. 小児てんかん学の臨床と研究. 京都府立医科大学学友会兵庫県支部総会 特別講演. 2017年7月2日; 姫路.

## 山中 龍也

研究分野：臨床腫瘍学，臨床健康科学

研究活動：

### 論文

- 1) Yamanaka R, Morii K, Shinbo Y, Sano M, Homma J, Tsuchiya N, Yajima N, Tsukamoto Y, Ogura R, Natsumeda M, Aoki H, Akiyama K, Saitoh T, Tamura T, Hondoh H, Kawaguchi A, Takahashi H, Fujii Y: Late relapse of primary central nervous system lymphoma. *Leukemia Lymphoma* 58 (2): 475-477, 2017.
- 2) Yamanaka R, Morii K, Sano M, Homma J, Yajima N, Tsukamoto Y, Ogura R, Natsumeda M, Aoki H, Akiyama K, Saitoh T, Hondoh H, Kawaguchi A, Takahashi H, Fujii Y: Long-term survivors of primary central nervous system lymphoma. *Jpn J Clin Oncol* 47 (2), 101-107, 2017.
- 3) Tamura S, Mitsuki S, Yamanaka R: Anxiety in cancer patients receiving outpatient chemotherapy based on their employment status—improving patient support. *Cepal Review* March, 2819-2827, 2017.
- 4) Ma C, Horlad H, Pan C, Yano H, Ohnishi K, Fujiwara Y, Matsuoka M, Lee A, Niidome T, Yamanaka R, Takeya M, Komohara Y: Stat3 inhibitor abrogates the expression of PD-1 ligands on lymphoma cell lines. *Journal of Clinical and Experimental Hematopathology* 57 (1): 21-25, 2017.
- 5) Fujimoto S, Iwawaki Y, Takishita Y, Yamamoto Y, Murota M, Yoshioka S, Hayano A, Hosokawa T, Yamanaka R: Effects and safety of mechanical bathing as a complementary therapy for terminal stage cancer patients from the physiological and psychological perspective: A pilot study. *Jpn J Clin Oncol* 47 (11): 1066-1072, 2017.
- 6) Hayano A, Komohara Y, Takashima Y, Takeya H, Homma J, Fukai J, Iwadate Y, Kajiwara K, Ishizawa S, Hondoh H, Yamanaka R: Programmed Cell Death Ligand 1 Expression in Primary Central Nervous System Lymphomas: A Clinicopathological Study. *Anticancer Res* 37 (10): 5655-5666, 2017.
- 7) Yamanaka R, Hayano A: Secondary glioma following acute lymphocytic leukemia: Therapeutic implications. *Neurosurg Rev* 40 (4): 549-557, 2017.
- 8) Yamanaka R, Hayano A, Kanayama T: Radiation-induced meningiomas: an exhaustive review of the literature. *World Neurosurg* 97:635-644, 2017.
- 9) Yamanaka R, Hayano A: Radiation-induced sarcomas of the central nervous system: a systematic review. *World Neurosurg* 98:818-828, 2017.
- 10) Yamanaka R, Hayano A: Secondary craniofacial sarcomas following retinoblastoma: a systematic review. *World Neurosurg* 101:722-730, 2017.
- 11) Yamanaka R, Hayano A: Radiation-induced schwannomas and neurofibromas: a systematic review. *World Neurosurg* 104:713-722, 2017.
- 12) Yamanaka R, Hayano A: Radiation-induced malignant peripheral nerve sheath tumors: a systematic review. *World Neurosurg* 105:961-970, 2017.
- 13) Yamanaka R, Hayano A, Takashima Y: Trilateral retinoblastoma: a systematic review of 211 cases. *Neurosurg Rev* 2017 Aug 16. [Epub ahead of print]
- 14) Yamanaka R, Abe E, Sato T, Hayano A, Takashima Y: Secondary Intracranial Tumors Following Radiotherapy for Pituitary Adenomas: A Systematic Review. *Cancers (Basel)* 9 (8); 1-16, 2017.
- 15) Yamada C, Iwawaki Y, Harada K, Fukui M, Morimoto M, Yamanaka R: Frequency and risk factors for subsyndromal delirium in an intensive care unit. *Intensive Crit Care Nurs* 47:15-22, 2018.
- 16) Takashima Y, Kawaguchi A, Kanayama T, Hayano A, Yamanaka R: Correlation between lower balance of Th2 helper T-cells and expression of PD-L1/PD-1 axis genes enables prognostic prediction in patients with glioblastoma. *Oncotarget* 9 (27), 19065-19078, 2018.
- 17) Takashima Y, Sasaki Y, Hayano A, Homma J, Fukai J, Iwadate Y, Kajiwara K, Ishizawa S, Hondoh H, Tokino T, Yamanaka R: Target amplicon exome-sequencing identifies promising diagnosis and prognostic markers involved in RTK-RAS and PI3K-AKT signaling as central oncopathways in primary central nervous system

lymphoma. Oncotarget 9 (44): 27471-27486, 2018.

- 18) Miyasato Y, Takashima Y, Takeya H, Yano H, Hayano A, Nakagawa T, Makino K, Takeya M, Yamanaka R, Komohara Y: The expression of PD-1 ligands and IDO1 by macrophages/microglia in primary central nervous system lymphoma. Journal of Clinical and Experimental Hematopathology 58 (2): 95-101, 2018.
- 19) Yamanaka R, Hayano A, Kanayama T: Radiation-induced gliomas: A comprehensive review and meta-analysis. Neurosurg Rev 41 (3): 719-731, 2018.
- 20) 山田親代, 岩脇陽子, 森本昌史, 山中龍也: ICUにおけるせん妄および重症候性せん妄に関する文献検討. 京都府立医科大学看護学科紀要 27: 1-14, 2017.

#### 学会発表

- 21) Tamura S, Hayama Y, Mitsuki S, Sakaguchi K, Yamanaka R: Relationship Between Stress and Saliva Biomarkers in Breast Cancer Patients Receiving Outpatient Chemotherapy The Asian Conference on Psychology & The Behavioral Sciences. Kobe, March 22-24, 2018.
- 22) 藤本早和子, 岩脇陽子, 滝下幸栄, 山本容子, 室田昌子, 吉岡さおり, 細川 豊史, 山中龍也: 終末期がん患者に対する機械浴の生理的・心理的な影響についての予備的研究. 第22回日本緩和医療学会, 横浜, 6月23日-24日, 2017
- 23) 山中龍也, 早野あづさ, 藤井幸彦: 脳リンパ腫の長期生存例の検討. 第15回日本臨床腫瘍学会学術集会, 神戸, 7月27日-29日, 2017
- 24) 吉田健一, 越智陽太郎, 白石友一, 磯部知弥, 千葉健一, 田中洋子, 岡田愛, 早野あづさ, 奥野友介, 鈴木啓道, 宮野悟, 山中龍也, 小川誠司: 中枢神経原発性リンパ腫の統合的解析. 第76回日本癌学会学術集会, 横浜, 9月28日-30日, 2017
- 25) 早野あづさ, 菰原義宏, 高島康郎, 本間順平, 深井順也, 岩立康男, 梶原浩司, 石澤伸, 本道洋昭, 山中龍也: 脳原発および転移性脳悪性リンパ腫における Programmed Cell Death Ligand 1 発現の検討. 第76回日本癌学会学術集会, 横浜, 9月28日-30日, 2017
- 26) 高島康郎, 川口淳, 金山知彦, 早野あづさ, 山中龍也: がん免疫療法のターゲットとなる分子と予後との関連の解析. 第40回日本分子生物学会年会, 神戸, 12月6日-8日, 2017

#### 大橋 純子

研究分野: 在宅看護学, 老年看護学, 地域看護学

研究活動:

#### 論文

- 1) 大橋純子, 桂敏樹 (2018): 地域で暮らす高齢者の生きがい感を高めるプログラムの有効性の評価, 日本ヒューマンヘルス研究学会誌, 9 (2), 45-50.
- 2) 江本厚子, 大橋純子, 岡野明美, 石川信仁 (2017): 看護の統合と実践Ⅱにおける京都府北部地域での学び, 京都府立医科大学看護学科紀要, 27, 77-80.

#### 学会発表

- 3) 高橋達夫, 大橋純子, 江本厚子 (2017): 特別養護老人ホームにおける看護職の夜間配置が看護職・介護職の精神的健康に与える要因の検討, 第37回日本看護科学学会学術総会, 仙台市.

#### その他 (講演等)

- 4) 大橋純子 (2017): 講演「行動変容を促すコーチング技術」兵庫県主催特定健診・保健指導実践者育成研修会, 神戸市.

#### 志澤 美保

研究分野: 地域看護学

研究活動:

#### 論文

- 1) 志澤美保, 義村さや香, 趙朔, 十一元三, 星野明子, 桂 敏樹 (2017): 幼児期の子供の食行動と養育環境との

関連, 京都府立医科大学看護学科紀要, 27 : 35-45.

- 2) 桂敏樹, 藤本萌美, 志澤美保, 星野明子, 白井香苗 (2017): 基本チェックリスト重点項目は新規要介護認定発生を予測できるか?, 日本農村医学会雑誌, 66 : 462-471.
- 3) Toshiki Katsura, Megumi Fujimoto, Miho Shizawa, Akiko Hoshino, Kanae Usui, Eri Yokoyama, and Myumi Hara (2017): A retrospective cohort study on the risk assessment of newly certificated long-term care need of elderly individuals in a community: Basic checklist and specific health checkup, Journal of Rural Medicine, 12 : 68-84.

#### 学会発表

- 4) 志澤美保, 義村さや香, 趙朔, 十一元三 (2017): 幼児期の食行動似関連する多要因分析 - 自閉症的傾向, 感覚特性および育児環境の実態 -, 第 58 回日本青年精神医学会総会, 奈良市.
- 5) 星野明子, 志澤美保, 白井香苗, 小倉真衣, 桂敏樹 (2017): 3 歳児の生活習慣と育児 - 「すこやか木津川 21」中間評価結果 (第 1 報) -, 第 66 回日本農村医学会学術総会, 宜野湾市.
- 6) 白井香苗, 志澤美保, 星野明子, 小倉真衣, 桂敏樹 (2017): 高齢期のライフスタイルと健康 - 「すこやか木津川 21」中間評価結果 (第 2 報) -, 第 66 回日本農村医学会学術総会, 宜野湾市.
- 7) 小倉真衣, 志澤美保, 星野明子, 白井香苗, 桂敏樹 (2017): 青・壮年期のライフスタイルと健康 - 「すこやか木津川 21」中間評価結果 (第 3 報) -, 第 66 回日本農村医学会学術総会, 宜野湾市.
- 8) 桂敏樹, 小倉真衣, 古俣理子, 星野明子, 志澤美保, 白井香苗 (2017): ソーシャルキャピタルはフレイルを抑制するか - 閉じこもりと非閉じこもりの比較 (1), 第 66 回日本農村医学会学術総会, 宜野湾市.
- 9) 古俣理子, 桂敏樹, 小倉真衣, 星野明子, 志澤美保, 白井香苗 (2017): 閉じこもり高齢者のフレイル発現と基本チェックリストによる機能評価の関連 (2), 第 66 回日本農村医学会学術総会, 宜野湾市.
- 10) 志澤美保, 義村さや香, 趙朔, 十一元三, 星野明子, 桂敏樹 (2017): 幼児期の食行動の関連要因の検討 - 自閉症的傾向, 感覚特性および育児環境の実態 -, 第 76 回日本公衆衛生学会総会, 鹿児島市.
- 11) 星野明子, 志澤美保, 白井香苗, 小倉真衣, 桂敏樹 (2017): 木津川市健康増進計画中間評価からみた, ライフスタイル, 健康, 育児の課題と取り組み, 第 76 回日本公衆衛生学会総会, 鹿児島市.
- 12) 小倉真衣, 阿部成美, 古俣理子, 白井香苗, 志澤美保, 星野明子, 横山絵里, 原真弓, 桂敏樹 (2017): ソーシャルキャピタルは閉じこもり高齢者のフレイル出現を抑制する要因となるか, 第 76 回日本公衆衛生学会総会, 鹿児島市.
- 13) 阿部成美, 小倉真衣, 古俣理子, 白井香苗, 志澤美保, 星野明子, 横山絵里, 原真弓, 桂敏樹 (2017): 地域高齢者における閉じこもりとフレイルとの関連に関する研究, 第 76 回日本公衆衛生学会総会, 鹿児島市.
- 14) 尾崎玲奈, 星野明子, 志澤美保, 桂敏樹 (2017): 聴覚障害者の受療行動に影響する要因の検討, 第 76 回日本公衆衛生学会総会, 鹿児島市.

#### 園田 悦代

研究分野: 小児看護学, 看護教育

研究活動:

#### 論文

- 1) Miku Yamaguchi, Etsuyo Sonoda & Machiko Suzuki (2017) The experience of parents of adult sons with Duchenne muscular dystrophy regarding their prolonged roles as primary caregivers: a serial qualitative study, Disability and Rehabilitation, DOI: 10.1080/09638288.2017.1408148
- 2) 園田悦代, 山口未久, 木村美沙紀, 荻野奈々, 田中直子, 柴田由里子, 白波瀬由美 (2018): 手術に臨む先天性疾患児と母親に対するプレパレーションによる不安軽減のための取り組み, 小児看護, へるす出版, 東京.

#### 学会発表

- 3) 荻野奈々, 木村美沙紀, 柴田由里子, 田中直子, 山口未久, 白波瀬由美, 園田悦代 (2017): 先天性疾患児に対する手術における母親の不安軽減のための看護介入法の検討 - プレパレーションの有効性 -, 一般社団法人日本小児看護学会第 27 回学術集会, 京都, 8 月.

- 4) 山口未久, 園田悦代 (2017): 重度障害児者への在宅ケア供給不足の要因に関する調査-重度訪問介護事業と居宅介護事業の業務内容の比較-, 一般社団法人日本小児看護学会第 27 回学術集会, 京都, 8 月.
- 5) 片山由加里, 園田悦代, 細田泰子 (2017): 看護師がチームで共有する情報伝達と患者像の特徴, 一般社団法人日本看護研究学会第 43 回学術集会, 名古屋, 8 月.
- 6) 園田悦代, 山口未久 (2017): 周手術期における先天性疾患児をもつ母親の不安への看護介入-プレパレーションによる介入の有効性-, 第 37 回日本看護科学学会学術集会, 仙台市, 12 月.
- 7) 三木ひかり, 兼平千晴, 太田真由美, 藤井早織, 下田みどり, 服部佳世子, 松尾恵美, 山口未久, 園田悦代 (2018): 小児がん治療中の子どもの食生活に対する看護介入のための基礎的研究, 第 40 回近畿小児血液・がん研究会, 京都, 2 月.
- 8) 片山由加里, 宇野真由美, 下岡ちえ, 園田悦代, 細田泰子: 多職種チームにおける看護師の臨床判断の特徴 (2018), 日本看護研究学会, 3 月.

#### その他

- 9) 園田悦代 (2017): 看護学論 (小児看護学), 一般社団法人日本看護学校協議会主催 教務主任養成講習会, 大阪, 6 月 14 日.
- 10) 兼平千晴, 三木ひかり, 太田真由美, 藤井早織, 下田みどり, 服部佳世子, 松尾恵美, 山口未久, 園田悦代 (2017): 小児がん治療中の子どもの食生活に対する看護介入のための基礎的研究, 京都府立医科大学看護研究交流会, 京都, 10 月.

#### 滝下 幸栄

研究分野: 基礎看護学, 看護教育学

研究活動:

#### 論文

- 1) 藤本早和子, 岩脇陽子, 滝下幸栄, 山本容子, 室田昌子, 吉岡さおり, 細川豊史, 早野あずさ, 山中龍也 (2017): Effects and safety of mechanical bathing as a complementary therapy for terminal stage cancer patients from the physiological and psychological perspective: a pilot study, 生理的および心理学的観点から末期がん患者のための補完療法としての効果と機械的な入浴の安全性: パイロット研究, Japanese Journal of Clinical Oncology, 47: 1066-1072.
- 2) 室田昌子, 岩脇陽子, 山本容子, 滝下幸栄, 光本かおり, 岡薫, 松岡知子 (2017): 看護基礎教育における慢性期患者の在宅ケアに向けた継続看護の教育方法の検討, 京都府立医科大学看護学科紀要, 27: 63-69.
- 3) 山本容子, 岩脇陽子, 滝下幸栄, 室田昌子, 松岡知子, 光本かおり, 中村順子, 小城智圭子 (2017): 看護学士課程 1 年生から開始する在宅ケアに向けた継続看護の効果的な教育方法の検討, 京都府立医科大学看護学科紀要, 27: 71-76.
- 4) 滝下幸栄, 岩脇陽子, 山本容子, 松岡知子 (2017): 看護継続教育における OSCE の現状に関する文献検討, 京都府立医科大学看護学科紀要, 27: 57-62.
- 5) 松岡知子, 滝下幸栄, 岩脇陽子, 山本容子, 吉田裕子, 秋山寛子 (2017): 1 歳 8 ヶ月児を養育する母親の育児に関する考え方や要望, 京都府立医科大学看護学科紀要, 27: 45-56.
- 6) 安立左知世, 水澤淳, 祖父江美奈子, 杉森敦子, 滝下幸栄 (2017): 入退院センターにおける患者支援の効果と課題, 京都府立医科大学附属病院看護部看護研究論文集 2015: 117-125.
- 7) Kiyomi Harada, Kiyo Ochi, Naoko Nishida, Yukie Takishita, Yoko Yamamoto, Keiko Sekido, The utility of original and revised Short Nutritional Assessment Questionnaire -For Japanese patients with cancer undergoing outpatient chemotherapy - International Nursing Research Conference 2017, Bangkok, Thailand, October, 2017.
- 8) Kiyomi Harada, Kiyo Ochi, Naoko Nishida, Yukie Takishita, Yoko Yamamoto, Keiko Sekido, Nutritional management of cancer patients receiving outpatient chemotherapy -Nutrient intake by the presence or absence of stomatitis and taste disorder- International Nursing Research Conference 2017 Bangkok, Thailand,

October, 2017.

## 学会発表

- 9) 藤本早和子, 岩脇陽子, 滝下幸栄, 山本容子, 室田昌子, 吉岡さおり, 細川豊史, 山中龍也 (2017): 終末期がん患者に対する機械浴の生理的・心理的な影響についての予備的研究, 第22回日本緩和医療学会学術大会, 横浜市, 6月.
- 10) 岩脇陽子, 山本容子, 滝下幸栄, 室田昌子, 柴田明美, 松岡知子, 光本かおり (2017): 在宅ケアに向けた継続看護の効果的な教育方法の試み, 第43回日本看護研究学会学術集会, 東海市, 8月.
- 11) 岩脇陽子, 室田昌子, 松岡知子, 山本容子, 滝下幸栄 (2017): 退院支援事例をアセスメントする学習を取り入れた成人看護学実習の試み, 第37回日本看護科学学会学術集会, 仙台市, 12月.
- 12) 松尾恵美, 岩脇陽子, 井林寿恵, 滝下幸栄, 室田昌子, 山本容子, 松岡知子 (2017): 小児がん患児の母親が治療開始の説明前後に抱く心理の様相, 第37回日本看護科学学会学術集会, 仙台市, 12月.
- 13) 山本裕子, 滝下幸栄, 岩脇陽子, 松岡知子, 山本容子, 室田昌子 (2017): 看護専門学校教員の生涯学習行動のプロセスに関する研究, 第37回日本看護科学学会学術集会, 仙台市, 12月.
- 14) 飛田健一, 岩脇陽子, 室田昌子, 滝下幸栄, 新垣洋美, 松岡知子 (2017): リフレクション研修が精神科新人看護師および中堅看護師に及ぼす影響, 第37回日本看護科学学会学術集会, 仙台市, 12月.
- 15) 松岡知子, 岩脇陽子, 滝下幸栄, 山本容子, 長弘千恵 (2017): 第一反抗期が出現する子どもを初めて養育する母親の育児ストレスの特徴, 第37回日本看護科学学会学術集会, 仙台市, 12月.
- 16) 原田清美, 越智幾世, 滝下幸栄, 山本容子, 西田直子, 關戸啓子 (2017): 外来化学療法中のがん患者の疾患別栄養管理に関する基礎的研究 写真撮影併用による2日間の食事調査より, 第37回日本看護科学学会学術集会, 仙台市, 12月.
- 17) 原田清美, 越智幾世, 滝下幸栄, 山本容子, 西田直子, 練谷弘子, 岡垣雅美, 東あかね, 關戸啓子 (2018): 外来化学療法中のがん患者における有害事象と栄養状態 血清トランスサイレチン値を評価指標として, 第32回日本がん看護学会学術集会, 千葉市.
- 18) 原田清美, 越智幾世, 滝下幸栄, 山本容子, 關戸啓子 (2018): 外来化学療法中のがん患者におけるトランスサイレチンを用いた栄養評価, 第32回日本がん看護学会学術集会, 千葉市.

## その他

- 19) 山本容子, 岩脇陽子, 滝下幸栄, 室田昌子 (2017): 卒業前の看護学生の手洗い行動に関連する知識と認識の構造, 平成29年度京都府立医科大学看護研究交流会, 京都市, 10月.

## 室田 昌子

研究分野: 成人看護学, 看護技術, 看護教育, 精神看護学

研究活動:

## 論文

- 1) 藤本早和子, 岩脇陽子, 滝下幸栄, 山本容子, 室田昌子, 吉岡さおり, 細川豊史, 早野あずさ, 山中龍也 (2017): Effects and safety of mechanical bathing as a complementary therapy for terminal stage cancer patients from the physiological and psychological perspective: a pilot study, 生理的および心理学的観点から末期がん患者のための補完療法としての効果と機械的な入浴の安全性: パイロット研究, Japanese Journal of Clinical Oncology, 47 (11, 1): 1066-1072.
- 2) 室田昌子, 岩脇陽子, 山本容子, 滝下幸栄, 光本かおり, 岡薫, 松岡知子 (2017): 看護基礎教育における慢性期患者の在宅ケアに向けた継続看護の教育方法の検討, 京都府立医科大学看護学科紀要 27: 63-69.
- 3) 山本容子, 岩脇陽子, 滝下幸栄, 室田昌子, 松岡知子, 光本かおり, 中村順子, 小城智圭子 (2017): 看護学士課程1年生から開始する在宅ケアに向けた継続看護の効果的な教育方法の検討, 京都府立医科大学看護学科紀要 27: 71-76.

## 学会発表

- 4) 藤本早和子, 岩脇陽子, 滝下幸栄, 山本容子, 室田昌子, 吉岡さおり, 細川豊史, 山中龍也 (2017): 終末期がん患者に対する機械浴の生理的・心理的な影響についての予備的研究, 第22回日本緩和医療学会学術大会, 横浜市, 6月.
- 5) 岩脇陽子, 山本容子, 滝下幸栄, 室田昌子, 柴田明美, 松岡知子, 光本かおり (2017): 在宅ケアに向けた継続看護の効果的な教育方法の試み, 日本看護研究学会第43回学術集会, 東海市, 8月.
- 6) 岩脇陽子, 室田昌子, 松岡知子, 山本容子, 滝下幸栄 (2017): 退院支援事例をアセスメントする学習を取り入れた成人看護学実習の試み, 第37回日本看護科学学会学術集会, 仙台市, 12月.
- 7) 武山雅志, 岩脇陽子, 北岡和代, 室田昌子, 表志津子, 松本勝, 丸岡直子 (2017): 看護学生のコミュニケーション・スキルの変化, 第37回日本看護科学学会学術集会, 仙台市, 12月.
- 8) 松尾恵美, 岩脇陽子, 井林寿恵, 滝下幸栄, 室田昌子, 山本容子, 松岡知子 (2017): 小児がん患児の母親が治療開始の説明前後に抱く心理の様相, 第37回日本看護科学学会学術集会, 仙台市, 12月.
- 9) 山本裕子, 滝下幸栄, 岩脇陽子, 松岡知子, 山本容子, 室田昌子 (2017): 看護専門学校教員の生涯学習行動のプロセスに関する研究, 第37回日本看護科学学会学術集会, 仙台市, 12月.
- 10) 飛田健一, 岩脇陽子, 室田昌子, 滝下幸栄, 新垣洋美, 松岡知子 (2017): リフレクション研修が精神科新人看護師および中堅看護師に及ぼす影響, 第37回日本看護科学学会学術集会, 仙台市, 12月.

#### その他

- 11) 栗屋涼子, 安食美穂, 檀史子, 松山友香, 森本純江, 上妻京子, 齊藤芳, 室田昌子 (2017): ストーマ装具およびアクセサリーの選択に関する看護技術を向上させる教材の開発, 平成29年度京都府立医科大学看護研究交流会, 京都市, 10月.
- 12) 山本容子, 岩脇陽子, 滝下幸栄, 室田昌子 (2017): 卒業前の看護学生の手洗い行動に関連する知識と認識の構造, 平成29年度京都府立医科大学看護研究交流会, 京都市, 10月.

#### 吉岡 さおり

研究分野: がん看護学, 看護教育学, 看護診断学

研究活動:

#### 論文

- 1) Fujimoto, S., Iwawaki, Y., Takishita, Y., Yamamoto, Y., Murota, M., Yoshioka, S., Yayano, A., Hosokawa, T., & Yamanaka, R. (2017). Effects and safety of mechanical bathing as a complementary therapy for terminal stage cancer patients from the physiological and psychological perspective: a pilot study, *Japanese Journal of Clinical Oncology*, 47 (11), 1066-1072.
- 2) 梶山倫子, 吉岡さおり (2018). 終末期がん患者の在宅療養移行に向けた一般病棟看護師の意思決定支援の実態とその関連要因. *Palliative Care Research*, 13 (1), 99-108.
- 3) 菊池有紀, 吉岡さおり, 窪田光枝, 入江多津子 (2018). 周手術期・急性期実習における学生の精神健康度の変化とストレス・コーピング. *国際医療福祉大学学会誌*, 23 (1), 137-144.

#### 学会発表

- 4) 藤本早和子, 岩脇陽子, 滝下幸栄, 山本容子, 室田昌子, 吉岡さおり, 細川豊史, 山中龍也 (2017). 終末期がん患者に対する機械浴の生理的・心理的な影響についての予備的研究. 第22回日本緩和医療学会学術大会, 横浜市.
- 5) 梶山倫子, 吉岡さおり, 川村晴美 (2017). A 認知症専門病院における看護問題抽出の実態 -BPSDの変化と看護問題. 第23回日本看護診断学会学術大会, 京都市.
- 6) 吉岡さおり, 片山はるみ (2017). 終末期がん患者の在宅療養移行支援における看護師の役割行動の実態と関連要因の検討 (第1報). 第37回日本看護科学学会学術集会, 仙台市.

#### 臼井 香苗

研究分野: 地域看護学

研究活動:

## 著書

- 1) 星旦二監修, 白井香苗他: 保健師国家試験 問題解説, メディカ出版.

## 論文

- 2) 和田奈裕子, 横山亜以, 村上ひとみ, 松田望日子, 鈴木由美子, 白井香苗 (2018): 病棟看護師の火災時対応の現状と課題 シミュレーション学習による意識と知識の変化, 京都府立医科大学附属病院看護部看護研究論文集, 2016: 45-48.
- 3) 桂敏樹, 藤本萌美, 志澤美保, 星野明子, 白井香苗 (2017): 基本チェックリスト重点項目は新規要介護認定発生を予測できるか?, 日本農村医学会雑誌 66 (4): 462-471.
- 4) Katsura T, Fujimoto M, Shizawa M, Hoshino A, Usui K, Yokoyama E, Hara M. (2017): A retrospective cohort study on the risk assessment of newly certificated long-term care need of elderly individuals in a community: Basic checklist and specific health checkup, J Rural Med. 12 (2): 68-84.

## 学会発表

- 5) 星野明子, 志澤美保, 白井香苗, 小倉真衣, 桂敏樹: 3歳児の生活習慣と健康「すこやか木津川 21」中間評価結果 (第1報), 第66回日本農村医学会, 宜野湾市, 10月.
- 6) 白井香苗, 星野明子, 志澤美保, 小倉真衣, 桂敏樹: 高齢期のライフスタイルと健康「すこやか木津川 21」中間評価結果 (第2報), 第66回日本農村医学会, 宜野湾市, 10月.
- 7) 小倉真衣, 星野明子, 志澤美保, 白井香苗, 桂敏樹: 青・壮年期のライフスタイルと健康「すこやか木津川 21」中間評価結果 (第3報), 第66回日本農村医学会, 宜野湾市, 10月.
- 8) 桂敏樹, 小倉真衣, 古俣理子, 星野明子, 志澤美保, 白井香苗: ソーシャルキャピタルはフレイルを抑制するか 閉じこもりと非閉じこもりの比較 (1), 第66回日本農村医学会, 宜野湾市, 10月.
- 9) 古俣理子, 桂敏樹, 小倉真衣, 星野明子, 志澤美保, 白井香苗: 閉じこもり高齢者のフレイル発現と基本チェックリストによる機能評価の関連 (2), 第66回日本農村医学会, 宜野湾市, 10月.
- 10) 阿部成美, 小倉真衣, 古俣理子, 白井香苗, 志澤美保, 星野明子, 横山絵里, 原真弓, 桂敏樹: 地域高齢者における閉じこもりとフレイルとの関連に関する研究, 第77回日本公衆衛生学会, 鹿児島市, 11月.
- 11) 小倉真衣, 阿部成美, 古俣理子, 白井香苗, 志澤美保, 星野明子, 横山絵里, 原真弓, 桂敏樹: ソーシャルキャピタルは閉じこもり高齢者のフレイル出現を抑制する要因となるか, 第77回日本公衆衛生学会, 鹿児島市, 11月.
- 12) 星野明子, 志澤美保, 白井香苗, 小倉真衣, 桂敏樹: 木津川市健康増進計画中間評価からみた、ライフスタイル、健康、育児の課題と取り組み, 第77回日本公衆衛生学会, 鹿児島市, 11月.

## 占部 美恵

研究分野: 精神看護学

研究活動:

## 論文

- 1) 米山美穂, 芦田理恵, 中川まりな, 吉岡莉花, 大川智美, 占部美恵 (2018): 頭頸部癌に対する放射線治療パンフレットを用いた看護師の患者指導の変化-新採用・病院内異動の看護師に対するインタビュー調査-, 第48回 (平成29年度) 日本看護学会論文集看護教育, 150-153.
- 2) 三田通博, 竹田義信, 山崎こずえ, 松永恒信, 坂東加代子, 占部美恵 (2018): 手術を受ける統合失調症患者の看護の視点について~ A 大学病院精神科に勤務する看護師のインタビュー調査から~, 第48回 (平成29年度) 日本看護学会論文集急性期看護, 54-57.

## 学会発表

(国際学会)

- 3) Mie Urabe, Jin Narumoto, Teruyuki Mastuoka, Yuka Kato, Shinji Urabe, Ayae Kinoshita (2017): Preliminary research toward effective care of BPSD considering the atrophy of the brain area in Alzheimer's disease, Alzheimer's Association International Conference, London, England, July.

(国内学会)

- 4) 富岡真弓、占部美恵、福田弘子、北島謙吾 (2017) : 就労を目指す統合失調症者の思いや受けた支援に関する文献検討—統合失調症者への効果的な就労支援の検索—、日本精神保健看護学会第 27 回学術集会・総会、北海道札幌市、6 月.
- 5) 福田弘子、占部美恵、北島謙吾 (2017) : 豪雨災害被災者が捉えた被災後の生活再建過程における心理的影響、日本精神保健看護学会第 27 回学術集会・総会、北海道札幌市、6 月.
- 6) 米山美穂、芦田理恵、中川まりな、吉岡莉花、大川智美、占部美恵 (2017) : 頸部癌に対する放射線治療パンフレットを用いた看護師の患者指導の変化～新採用・病院内異動の看護師に対するインタビュー調査～、第 48 回日本看護学会—教育—学術集会、香川県高松市、8 月.
- 7) 福田弘子、占部美恵、北島謙吾 (2017) : 豪雨災害の被災者が捉えた長期的な心理的影響と支援—2011 年伊半島大水害の被災者による語りから—、日本災害看護学会第 19 回年次大会、鳥取県倉吉市、8 月.
- 8) 三田通博、山崎こずえ、上田哲寛、坂東加代子、占部美恵 (2017) : 手術をうける統合失調症患者の看護の視点について～大学病院精神科に勤務する看護師のインタビュー調査から～、第 48 回日本看護学会—急性期看護—学術集会、岐阜県岐阜市、9 月.

## 岡野 明美

研究分野：地域看護

研究活動：

### 論文

- 1) 岡野明美 (2018) : 保健師のコーディネーションの概念分析, 大阪府立大学看護学雑誌, 24 (1), 21-30.
- 2) 岡野明美 (2018) : 高齢者が暮らす中で生じる倫理的課題とその支援, 日本 CNS 看護学会誌, 4, 15-21.
- 3) 江本厚子, 大橋純子, 岡野明美, 石川仁 (2017) : 看護の統合と実践Ⅱにおける京都府北部地域での学び, 京都府立医科大学看護学科紀要, 27, 77-80.
- 4) 杉本寿代, 品川由里, 亀井尚志, 大秦恵子, 平松美奈子, 山畑佳篤, 岡野明美 (2018) : 救急外来看護師の災害看護初期対応に関する知識・技術習得に向けた取り組み, 京都府立医科大学付属病院看護部看護研究論文集, 2016, 33-37.

### 学会発表

- 5) 岡野明美 (2017) : 保健師職地域看護 CNS の行った倫理調整事例の分析から暮らしの中での倫理的課題の特性を明らかにする, 第 4 回日本 CNS 看護学会, 東京, 6 月.
- 6) 岡野明美, 上野昌江, 大川聡子 (2017) : 地域包括支援センター保健師の認知症高齢者に対するコーディネーションの内容と特徴, 日本地域看護学会第 20 回学術集会, 大分, 8 月
- 7) 岡野明美, 古賀佳代子, 曾我智子, 小林奈緒子 (2018) : 地域包括支援センター保健師の役割と葛藤, 日本公衆衛生看護学会第 6 回学術集会, 大阪, 1 月.
- 8) 室岡真樹, 岡野明美, 曾我智子, 新家静, 小林奈緒子, 持田恵理, 仙田寿子 (2018) : 倫理的課題を含む事例への看護展開～認知症、結核検診要精密検査対象者の医療支援に焦点をあてて～日本公衆衛生看護学会第 6 回学術集会, 大阪, 1 月.

## 越智 幾世

研究分野：成人看護学, がん看護学

研究活動：

### 論文

- 1) 越智幾世, 岩脇陽子, 光木幸子 (2017) : 化学放射線同時併用療法を受ける頭頸部癌領域がん患者の口内炎出現前後における口腔ケアに対する認識, 京都府立医科大学医学部看護学科紀要, 27 : 23-34.

### 学会発表

(国際学会)

- 2) Kiyomi Harada, Kiyo Ochi, Naoko Nishida, Yukie Takishita, Yoko Yamamoto and Keiko Sekido, The utility of original and revised Short Nutritional Assessment Questionnaire -For Japanese patients with cancer undergoing outpatient chemotherapy - International Nursing Research Conference 2017, Bangkok, Thailand, October, 2017.
- 3) Kiyomi Harada, Kiyo Ochi, Naoko Nishida, Yukie Takishita, Yoko Yamamoto and Keiko Sekido, Nutritional management of cancer patients receiving outpatient chemotherapy -Nutrient intake by the presence or absence of stomatitis and taste disorder- International Nursing Research Conference 2017 Bangkok, Thailand, October, 2017.

(国内学会)

- 4) 越智幾世, 石川剛, 金沢元洪, 吉田直久, 宮垣有希, 大迫文重, 中嶋佑樹, 神林裕子, 金村成智, 田口哲也 (2017) : 当院外来化学療法センターにおける歯科との連携による口腔ケア管理の現状と改善に向けた取り組み, 第15回日本臨床腫瘍学会学術集会, 神戸, 7月.
- 5) 越智幾世, 石川剛, 金沢元洪, 河野留美, 平尾眞由美, 吉田直久, 中嶋佑樹, 神林裕子, 田口哲也 (2017) : 免疫チェックポイント阻害剤の副作用対策~大学病院における多職種医療チームの取り組み~, 第55回日本癌治療学会学術集会, 横浜, 10月.
- 6) 原田清美, 越智幾世, 山本容子, 西田直子, 關戸啓子 (2017) : 外来化学療法中の患者における栄養状態についての研究-食欲低下有無別, 写真併用による食事記録調査-, 第43回日本看護研究学会, 学術集会, 愛知, 8月
- 7) 原田清美, 越智幾世, 滝下幸栄, 山本容子, 西田直子, 關戸啓子 (2017) : 外来化学療法中のがん患者の疾患別栄養管理に関する基礎的研究-写真撮影併用による2日間の食事調査より-第37回日本看護科学学会学術集会, 仙台, 12月.
- 8) 原田清美, 越智幾世, 滝下幸栄, 山本容子, 西田直子, 練谷弘子, 岡垣雅美, 東あかね, 關戸啓子 (2018) : 外来化学療法中のがん患者における有害事象と栄養状態-血清トランスサイレチン値を評価指標として-第32回日本がん看護学会学術集会, 横浜, 2月.
- 9) 原田清美, 越智幾世, 滝下幸栄, 山本容子, 關戸啓子 (2018) : 外来化学療法中のがん患者におけるトランスサイレチンを用いた栄養評価, 第32回日本がん看護学会学術集会, 横浜, 2月.

その他 (講演)

- 10) 越智幾世 (2017) : 当施設における irAE について, 頭頸部癌免疫療法研究会, 京都, 9月.

## 佐伯 良子

研究分野：成人看護学，看護教育学

研究活動：

### 論文

- 1) 寺川舞, 谷口亮子, 藤山祐里香, 南山愛美, 井月千晴, 岩田ちづる, 佐伯良子 (2017) : 人工膝関節全置換術を受けた患者の弾性ストッキング着用による不快感や皮膚トラブルへの取り組み, 京都府立医科大学附属病院看護部看護研究論文集, 2015, 89-96.

## 中島 奈美

研究分野：母性看護学，助産学

研究活動：

### 論文

- 1) 中島奈美 (2017) : 死産体験記から抽出した母性関係の特徴 - 出産前後に関係の調和を促す要因に着目して -, 京都母性衛生学会誌, 25 (1) : 27-31.

### 学会発表

- 2) 中島奈美 (2018) : 看護教育における二分性と未分性-可視から不可視をオモウ試み-, 5回日統合人間学会学術大会 共催日本ホリスティック教育/ケア学会公開研究会, 京都, 1月

- 3) 中島奈美, 大蔵珠己 (2018): 入院中の死産ケアの実践と変化 第2報-父母の記述から得た死産児の帰宅とその影響-。第32回日本助産学会学術集会, 横浜, 3月
- 4) 大蔵珠己, 中島奈美 (2018): 入院中の死産ケアの実践と変化 第1報-A施設での直近10年間の量的変遷-, 第32回日本助産学会学術集会, 横浜, 3月
- 5) 本宮亜紀, 中田美幸, 木下梨穂, 松岡その子, 高見淳子, 中島奈美 (2018): 授業デザインを用いた業務改善時の授業実施者の気づき-日本語困難者からの分娩連絡対応ツールの作成への取り組みを通して-, 第32回日本助産学会学術集会, 横浜, 3月
- 6) 木下梨穂, 本宮亜紀, 中田美幸, 松岡その子, 高見淳子, 中島奈美 (2018): 日本語困難者からの分娩連絡対応ツールの作成への取り組み入-授業デザインを用いた業務改善の実際-, 第32回日本助産学会学術集会, 横浜, 3月

## 馬場口 喜子

研究分野: 小児看護学, 看護教育

研究活動: 該当なし

## 山本 容子

研究分野: 基礎看護学, 看護教育

研究活動:

### 論文

- 1) 山本容子, 岩脇陽子, 滝下幸栄, 室田昌子, 松岡知子, 光本かおり, 中村順子, 小城智圭子 (2017): 看護学士課程1年生から開始する在宅ケアに向けた継続看護の効果的な教育方法の検討, 京都府立医科大学看護学科紀要, 27: 71-76.
- 2) 松岡知子, 滝下幸栄, 岩脇陽子, 山本容子, 吉田裕子, 秋山寛子 (2017): 1歳8ヶ月児を養育する母親の育児に関する考え方や要望, 京都府立医科大学看護学科紀要, 27: 45-56.
- 3) 滝下幸栄, 岩脇陽子, 山本容子, 松岡知子 (2017): 看護継続教育におけるOSCEの現状に関する文献検討, 京都府立医科大学看護学科紀要, 27: 57-62.
- 4) 室田昌子, 岩脇陽子, 山本容子, 滝下幸栄, 光本かおり, 岡薫, 松岡知子 (2017): 看護基礎教育における慢性期患者の在宅ケアに向けた継続看護の教育方法の検討, 京都府立医科大学看護学科紀要, 27: 63-69.
- 5) Kiyomi Harada, Kiyo Ochi, Tetsuya Yaguchi, Terukazu Nakamura, Motohiro Kanazawa, Naohisa Yoshida, Hiroko Neriya, Masami Okagaki, Naoko Nishida, Yukie Takishita, Yoko Yamamoto, Saori Wada, Masashi Kuwahata, Isao Yokota, Keiko Sekido, and Akane Higachi (2017): Validity of the Short Nutritional Assessment Questionnaire for Japanese Patients with Cancer Undergoing Outpatient Chemotherapy, The Journal of Medical Investigation, 64 (1.2): 117-121.
- 6) Sawako Fujimoto, Yoko Iwawaki, Yukie Takishita, Yoko Yamamoto, Masako Murota, Saori Yoshioka, Azusa Hayano, Toyoshi Hosokawa, Ryuya Yamanaka (2017): Effects and safety of mechanical bathing as a complementary therapy for terminal stage cancer patients from the physiological and psychological perspective: a pilot study, Japanese Journal of Clinical Oncology, 47 (11, 1): 1066-1072.
- 7) 長谷川朋美, 白川翔, 四方美希, 友松慎弥, 小東紀子, 藤井精子, 大川智美, 山本容子 (2018): 肺手術術前オリエンテーションDVDの評価, 京都府立医科大学附属病院看護部看護研究論文集 2016: 29-31.

### 学会発表

- 8) 藤本早和子, 岩脇陽子, 滝下幸栄, 山本容子, 室田昌子, 吉岡さおり, 細川豊史, 山中龍也 (2017): 終末期がん患者に対する機械浴の生理的・心理的な影響についての予備的研究, 第22回日本緩和医療学会学術大会, 横浜市, 6月.
- 9) 原田清美, 山本容子, 關戸啓子 (2017): 食事介助演習の実施時期による学習効果の違い-患者役体験を通じた学びを比較して-, 日本看護学教育学会第27回学術集会, 宜野湾市, 8月.
- 10) 岩脇陽子, 山本容子, 滝下幸栄, 室田昌子, 柴田明美, 松岡知子, 光本かおり (2017): 在宅ケアに向けた継続

看護の効果的な教育方法の試み, 日本看護研究学会第 43 回学術集会, 東海市, 8 月.

- 11) 原田清美, 越智幾世, 山本容子, 西田直子, 關戸啓子 (2017): 外来化学療法中の患者における栄養状態についての研究-食欲低下有無別, 写真併用による食事記録調査-, 日本看護研究学会第 43 回学術集会, 東海市, 8 月.
- 12) 岩脇陽子, 室田昌子, 松岡知子, 山本容子, 滝下幸栄 (2017): 退院支援事例をアセスメントする学習を取り入れた成人看護学実習の試み, 第 37 回日本看護科学学会学術集会, 仙台市, 12 月.
- 13) 松岡知子, 岩脇陽子, 滝下幸栄, 山本容子, 長弘千恵 (2017): 第一反抗期が出現する子どもを養育する初産婦の育児ストレスの特徴, 第 37 回日本看護科学学会学術集会, 仙台市, 12 月.
- 14) 松尾恵美, 岩脇陽子, 井林寿恵, 滝下幸栄, 室田昌子, 山本容子, 松岡知子 (2017): 小児がん患児の母親が治療開始の説明前後に抱く心理の様相, 第 37 回日本看護科学学会学術集会, 仙台市, 12 月.
- 15) 原田清美, 越智幾世, 滝下幸栄, 山本容子, 西田直子, 關戸啓子 (2017): 外来化学療法中のがん患者の疾患別栄養管理に関する基礎的研究-写真撮影併用による 2 日間の食事調査より-, 第 37 回日本看護科学学会学術集会, 仙台市, 12 月.
- 16) 山本裕子, 滝下幸栄, 岩脇陽子, 松岡知子, 山本容子, 室田昌子 (2017): 看護専門学校教員の生涯学習行動のプロセスに関する研究, 第 37 回日本看護科学学会学術集会, 仙台市, 12 月.
- 17) Kiyomi Harada, Kiyo Ochi, Naoko Nishida, Yukie Takishita, Yoko Yamamoto, Keiko Sekido (2017): The utility of original and revised Short Nutritional Assessment Questionnaire -For Japanese patients with cancer undergoing outpatient chemotherapy-, World Academy of Nursing Science The 5th International Nursing Research Conference, Thailand, October.
- 18) Kiyomi Harada, Kiyo Ochi, Naoko Nishida, Yukie Takishita, Yoko Yamamoto and Keiko Sekido (2017): Nutritional management of cancer patients receiving outpatient chemotherapy -Nutrient intake by the presence or absence of stomatitis and taste disorder-, World Academy of Nursing Science The 5th International Nursing Research Conference, Thailand, October.
- 19) 原田清美, 越智幾世, 滝下幸栄, 山本容子, 西田直子, 關戸啓子, 練谷弘子, 岡垣雅美, 東あかね (2018): 外来化学療法中のがん患者における有害事象と栄養状態-血清トランスサイレチン値を評価指標として-, 第 32 回日本がん看護学会学術集会, 千葉市, 2 月.
- 20) 原田清美, 越智幾世, 滝下幸栄, 山本容子, 關戸啓子 (2018): 外来化学療法中のがん患者におけるトランスサイレチンを用いた栄養評価, 第 32 回日本がん看護学会学術集会, 千葉市, 2 月.

#### その他

- 21) 山本容子, 岩脇陽子, 滝下幸栄, 室田昌子 (2017): 卒業前の看護学生の手洗い行動に関連する知識と認識の構造, 平成 29 年度京都府立医科大学看護研究交流会, 京都市, 10 月.

#### 吉岡 友香子

研究分野: 母性・助産学

研究活動:

#### 学会発表

- 1) 吉田裕子, 吉岡友香子, 中島奈美, 青山桂子, 松岡知子: 母性看護学実習に新生児蘇生演習を導入して (その 2) オリジナルビデオ教材導入による学習効果の検討, 第 27 回日本看護学教育学会学術集会, 沖縄, 8 月.
- 2) 吉岡友香子, 植松紗代, 和泉美枝, 眞鍋えみ子: 有黄体期における月経随伴症状と睡眠及び自律神経活動量との関連, 第 31 回日本助産学会学術集会, 横浜, 3 月.

#### 原田 清美

研究分野: 基礎看護学, 成人看護学, 栄養学

研究活動:

#### 論文

- 1) Chikayo Yamada, Yoko Iwawaki, Kiyomi Harada, Michihiko Fukui, Masafumi Morimoto, Ryuya Yamanaka,

(2018) : Frequency and risk factors for subsyndromal delirium in an intensive care unit, Intensive & Critical Care Nursing, 47:15-22. doi: 10.1016/j.iccn.2018.02.010.

#### 学会発表

(国際学会)

- 2) Kiyomi Harada, Kiyo Ochi, Naoko Nishida, Yukie Takishita, Yoko Yamamoto, Keiko Sekido, The utility of original and revised Short Nutritional Assessment Questionnaire -For Japanese patients with cancer undergoing outpatient chemotherapy - International Nursing Research Conference 2017, Bangkok, Thailand, October, 2017.
- 3) Kiyomi Harada, Kiyo Ochi, Naoko Nishida, Yukie Takishita, Yoko Yamamoto, Keiko Sekido, Nutritional management of cancer patients receiving outpatient chemotherapy -Nutrient intake by the presence or absence of stomatitis and taste disorder- International Nursing Research Conference 2017 Bangkok, Thailand, October, 2017.

(国内学会)

- 4) 關戸啓子, 原田清美 (2017) : 看護学生の食生活と食事介助時大切にする視点との関連, 第27回日本看護学教育学会学術集会, 沖縄, 8月
- 5) 原田清美, 山本容子, 關戸啓子 (2017) : 食事介助演習の実施時期による学習効果の違い - 患者役体験を通じた学びを比較して -, 第27回日本看護学教育学会学術集会, 沖縄, 8月
- 6) 原田清美, 越智幾世, 山本容子, 西田直子, 關戸啓子 (2017) : 外来化学療法中の患者における栄養状態についての研究—食欲低下有無別, 写真併用による食事記録調査—, 第43回日本看護研究学会, 学術集会, 愛知, 8月
- 7) 原田清美, 越智幾世, 滝下幸栄, 山本容子, 西田直子, 關戸啓子 (2017) : 外来化学療法中のがん患者の疾患別栄養管理に関する基礎的研究 - 写真撮影併用による2日間の食事調査より - 第37回日本看護科学学会学術集会, 仙台, 12月
- 8) 原田清美, 越智幾世, 滝下幸栄, 山本容子, 西田直子, 練谷弘子, 岡垣雅美, 東あかね, 關戸啓子 (2018) : 外来化学療法中のがん患者における有害事象と栄養状態 - 血清トランスサイレチン値を評価指標として - 第32回日本がん看護学会学術集会, 横浜, 2月
- 9) 原田清美, 越智幾世, 滝下幸栄, 山本容子, 關戸啓子 (2018) : 外来化学療法中のがん患者におけるトランスサイレチンを用いた栄養評価, 第32回日本がん看護学会学術集会, 横浜, 2月

#### 山口 未久

研究分野 : 小児看護学

研究活動 :

#### 著書

- 1) 法橋尚宏監修, 山口未久他 (2017) : 看護師国試ラピッドスタディ 2018, 神奈川, EDITEX.

#### 論文

- 2) Miku Yamaguchi, Etsuyo Sonoda & Machiko Suzuki (2017) The experience of parents of adult sons with Duchenne muscular dystrophy regarding their prolonged roles as primary caregivers: a serial qualitative study, Disability and Rehabilitation, DOI: 10.1080/09638288.2017.1408148

#### 学会発表

- 3) 荻野奈々, 木村美沙紀, 柴田由里子, 田中直子, 山口未久, 白波瀬由美, 園田悦代 (2017) : 先天性疾患児に対する手術における母親の不安軽減のための看護介入法の検討—プレパレーションの有効性—, 一般社団法人日本小児看護学会第27回学術集会, 京都, 8月.
- 4) 山口未久, 園田悦代 (2017) : 重度障害児者への在宅ケア供給不足の要因に関する調査—重度訪問介護事業と居宅介護事業の業務内容の比較—, 一般社団法人日本小児看護学会第27回学術集会, 京都, 8月.
- 5) 園田悦代, 山口未久 (2017) : 周手術期における先天性疾患児をもつ母親の不安への看護介入—プレパレーションによる介入の有効性—, 第37回日本看護科学学会学術集会, 仙台市, 12月.

- 6) 三木ひかり, 兼平千晴, 太田真由美, 藤井早織, 下田みどり, 服部佳世子, 松尾恵美, 山口未久, 園田悦代 (2018): 小児がん治療中の子どもの食生活に対する看護介入のための基礎的研究, 第40回近畿小児血液・がん研究会, 京都, 2月.

#### その他

- 7) 兼平千晴, 三木ひかり, 太田真由美, 藤井早織, 下田みどり, 服部佳世子, 松尾恵美, 山口未久, 園田悦代 (2017): 小児がん治療中の子どもの食生活に対する看護介入のための基礎的研究, 京都府立医科大学看護研究交流会, 京都, 10月.

### 吉田 裕子

研究分野: 母性・助産学

研究活動:

#### 著書

- 1) 立岡弓子編著, 吉田裕子他 (2017): 新母性看護学テキスト 女性の健康と看護, サイオ出版, 東京

#### 論文

- 2) 松岡知子, 滝下幸栄, 岩脇陽子, 山本容子, 吉田裕子, 秋山寛子: 1歳8カ月児を養育する母親の育児に関する考え方や要望, 京都府立医科大学看護学科紀要, 2017.12

#### 学会発表

- 3) 吉田裕子, 立岡弓子: 妊娠期女性のメンタルヘルスとイソフラボンに注目した食行動との関連, 第19回日本母性看護学会, 西宮市, 2017.6
- 4) 吉田裕子, 吉岡友香子, 中島奈美, 青山桂子, 松岡知子: 母性看護学実習に新生児蘇生演習を導入して その2 - オリジナル教材導入による学習効果の検討, 第27回日本看護教育学会, 宜野湾市, 2017.8
- 5) 吉田裕子, 和多田抄子, 土川祥, 吉川美雪, 立岡弓子: 妊娠期女性のうつ傾向と血漿アミノ酸濃度の変化 CES-D 得点と血漿トリプトファン濃度に着目して, 日本母性衛生学会, 神戸市, 2017.10
- 6) 和多田抄子, 吉田裕子, 土川祥, 吉川美雪, 立岡弓子: 妊娠期から産褥早期の母体血中のグルタミン酸濃度と母親の食行動の関連, 日本母性衛生学会, 神戸市, 2017.10

#### その他

- 7) 吉田裕子, 妊娠中の食生活とメンタルヘルスの関連, 京都府立医科大学付属病院看護研究交流会, 京都市, 2017.10

### 福田 弘子

研究分野: 精神看護学

研究活動:

#### 学会発表

- 1) 福田弘子, 占部美恵, 北島謙吾 (2017): 豪雨災害の被災者が捉えた長期的な心理的影響と支援 -2011年 紀伊半島大水害の被災者による語りから, 日本災害看護学会第19回年次大会, 倉吉市, 8月.
- 2) 福田弘子, 占部美恵, 北島謙吾 (2017): 豪雨災害被災者が捉えた被災後の生活再建過程における心理的影響, 日本精神保健看護学会第27回学術集会・総会, 札幌市, 6月.
- 3) 富岡真弓, 占部美恵, 福田弘子, 北島謙吾 (2017): 就労を目指す統合失調症者の思いや受けた支援に関する文献検討 - 統合失調症者への効果的な就労支援の検索 -, 日本精神保健看護学会第27回学術集会・総会, 札幌市, 6月.

### 村上 佳栄子

研究分野: 地域看護学

研究活動: 該当なし

## 安井 千春

研究分野：母性看護学

研究活動：該当なし

## 山田 親代

研究分野：成人看護学

研究活動：

### 論文

- 1) 山田親代, 岩脇陽子, 森本昌史, 山中龍也 (2017):ICU におけるせん妄および重症候性せん妄に関する文献検討, 京都府立医大看護紀要, 27:1-14.
- 2) 山田親代 (2014):ICU (Intensive Care Unit) におけるせん妄評価と対策, 大津市民病院雑誌, 15:11-15.

### 学会発表

- 3) 蔭山紫都子, 西田正美, 山田親代, 福井道彦 (2018):A 病院の蘇生研修は院内の急変対応能力向上に適しているか, 第45回日本集中治療医学会学術集会, 幕張, 2月
- 4) 山田親代, 岩脇陽子 (2017):ICU 入室患者の重症候性せん妄発症に影響する要因, 第13回日本クリティカルケア看護学会学術集会, 仙台, 6月.
- 5) 阿部千晶, 東川恭子, 蔭山紫都子, 山田親代, 加藤之紀 (2017):客観的疼痛スケールと主観的疼痛スケールの比較検討, 第44回日本集中治療医学会学術集会, 札幌, 3月
- 6) 佐藤隆美, 村松明子, 山田親代, 日隈玲 (2016):ICU-AW への取り組み ~ NS サイドでのリハビリ導入を試みて, 第43回日本集中治療医学会学術集会, 神戸, 2月
- 7) 前田知美, 森口由紀子, 山田親代 (2015):心臓血管外科術後のICU での記憶と体験の実態, 第42回日本集中治療医学会学術集会, 東京, 2月
- 8) 楠田奈美, 辻百合子, 山田親代, 立山満久 (2014):ICU 看護師の栄養管理に対する行動変化 —栄養チェックシートを導入して—, 第41回日本集中治療医学会学術集会, 京都, 2月
- 9) 山田親代 (2013):人工呼吸管理を病棟で行う看護師の現状と課題, 第40回日本集中治療医学会学術集会, 松本, 2月

### その他

- 10) 第37回滋賀県病院大会「急性期病院におけるせん妄対策」(2017), シンポジスト, 滋賀, 2月
- 11) 平成27年度看護職の再就職支援講習会「フィジカルアセスメント」講師 (2015), 滋賀県看護協会, 9月
- 12) 平成26年度看護職の再就職支援講習会「フィジカルアセスメント」講師 (2014), 滋賀県看護協会, 9月
- 13) 平成25年度滋賀県理学療法士会研修会「吸引手技の実際と注意点」講師 (2014), 滋賀県理学療法士会, 2月

## 山本 裕子

研究分野：成人看護学

研究活動：

### 論文

- 1) 看護教員の生涯学習行動のプロセスに関する研究：修士論文, 2017.

### 学会発表

- 2) 山本裕子, 滝下幸栄, 岩脇陽子, 松岡知子, 山本容子, 室田昌子 (2017):看護教員の生涯学習行動のプロセスに関する研究, 第37回日本看護科学学会学術集会, 12月, 仙台.
- 3) 山本正彦, 山本裕子, 西川由美子, 真壁五月 (2010):毎朝ウォーキングカンファレンスで過去24時間の心電図モニターを見る効果 - 不整脈の知識の獲得 -, 第41回日本看護学会看護管理, 9月, 新潟.
- 4) 山本裕子 (2009):マーガレットニューマン理論を实践して, 第45回京都病院学会, 京都.

## 吉田 玉美

研究分野：成人看護学，老年看護学

研究活動：

### 著書

- 1) 吉田玉美，任和子（2015）：患者支援：step up 講座 第1回サルコペニア－転倒骨折の高齢者，整形外科看護，20（7），54-60，大阪：メディカ出版.
- 2) 吉田玉美，任和子（2015）：病期・発達段階の視点で見る疾患別看護過程 大腿骨頸部／転子部骨折，プチナース別冊 Book in book，24（9），1-20，東京：照林社.
- 3) 吉田玉美，任和子（2017）：病期・発達段階の視点で見る疾患別看護過程 骨粗鬆症・椎体骨折，プチナース別冊 Book in book，26（11），1-20，東京：照林社.

### 論文

- 4) 吉田玉美（2015）：誤嚥性肺炎を併発した高齢大腿骨近位部骨折患者に対する ADL 回復に向けて取り組んだ周手術期の看護師の役割，日本運動器看護学会誌，10，78-83，

### 学会発表

- 5) 吉田玉美，任和子，橋本求，布留守敏，伊藤宣，田中真生，山本渉，藤井康友，三森経世（2017）：関節リウマチ患者における内臓脂肪が動脈硬化に及ぼす影響，第61回日本リウマチ学会学術集会，福岡市，4月.
- 6) 吉田玉美，橋本求，田中真生，伊藤宣，山本渉，任和子（2017）：糖尿病のない関節リウマチ患者における体組成とインスリン抵抗性の関係の検討，第32回日本臨床リウマチ学会，神戸市，12月.